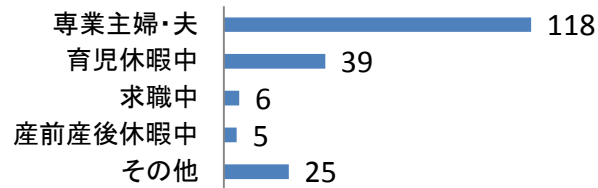


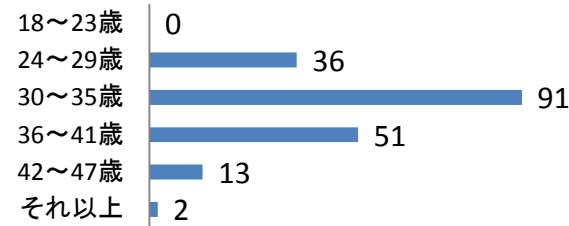
平成29年度 瀬谷区地域子育て支援拠点にてらす **利用者アンケート 結果報告**  
 (実施期間 平成30年2月～3月 集計数193) 平成30年5月

平成29年度の利用者アンケートの結果がまとまりましたのでご報告します。  
 昨年度は秋の子育て応援イベント開催や、せや子育て応援マップ「ぐるっとなび」発行など、より子育て中の親子にとって地域が身近に感じられるよう取り組んだ一年でした。子育てサポートシステム、子育てパートナーが拠点にあることをいかし、幅広くどこに住んでいても「瀬谷で子育てしてよかった」と感じられるよう、地域の皆様のご協力をいただきながら進んでいきたいと思ひます。

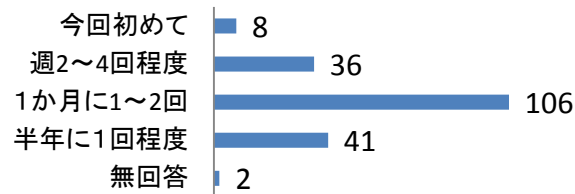
◆あなたの現在の状況を教えてください。(人)



◆あなたの年代を教えてください。(人)



◆にこてらすをどのくらいの頻度で利用していますか。(人)

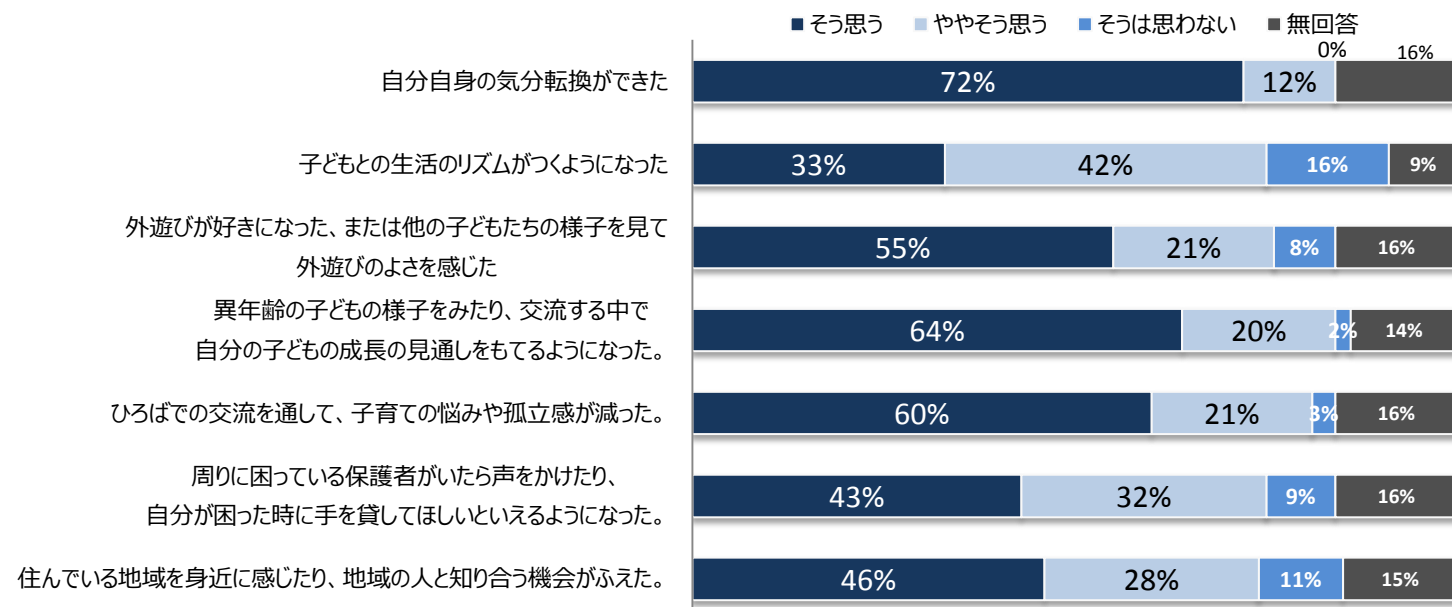


子どもたちが思いっきり遊ぶこと、友だち作りや親同士のおしゃべりと情報交換、困りごとの相談、地域情報のゲット…さまざまな子育て中の方がすこす「ひろば」が、みんなが思いを伝えあい、知恵を出しあい、『地域のみんなで』子育てしていける場になるよう、応援していきたいと思ひます。

**親子の居場所について**

(今回初めて利用した方以外にお聞きします)

◆にこてらすに来て次のような気持ちをもったり、自分や子どもが変わったことがありますか。



◆スタッフに頼んだり、気になることを話したりしやすいですか。(%)



(…いいえの理由)

- ・まだ2回目なのでよくわからない
- ・仲の良いグループとスタッフが盛り上がっていると話しかけづらい

◆ひろばで感じていること、やってみたいこと、困ったことなど何でもご記入下さい。

- ・にこてらすのおかげで心にゆとりがもてる！
- ・孫を安心して遊ばせることができ助かります。
- ・子どもを2人連れてきても、他のママたちが一緒に自分の子を見守ってくれて本当に助かります。
- ・親どうしが話し込んでいて子どもの行動を全くみてなかったりで、子どものトラブルをどうしたらよいか分からなかった。
- ・大きな子ばかりだと、遊びが激しくてびびる。年齢の大きい子が赤ちゃんスペースに走ってきてヒヤヒヤした。
- ・ドアが開いていると勝手に子どもが外に出て困ることがある。
- ・ママ友ができ、いろいろ勉強ができる。
- ・県外出身で知りあいがいりませんでした。にこてらすに来て孤独感もなく、楽しく子育てが出来ています。
- ・知らないママに声をかけづらいので知りあいができない。
- ・スタッフの皆さんとても親切で自由な雰囲気が好きです。
- ・ちょっと遠いところに住んでいるので、イベントがあるといってみよう、という気になります。
- ・庭で0歳児が遊べるスペース(ひなたぼっこ)があると助かります。
- ・冬場はひろばで遊んで風邪をもらうことがあり、手洗いや加湿など感染症予防策を広めてほしい。 他

◆にこてらすのプログラムに参加したことがありますか。(%)



◆→「いいえ」と答えた方のみお聞きします。

プログラムに参加しない理由は何ですか。(複数回答可：人)

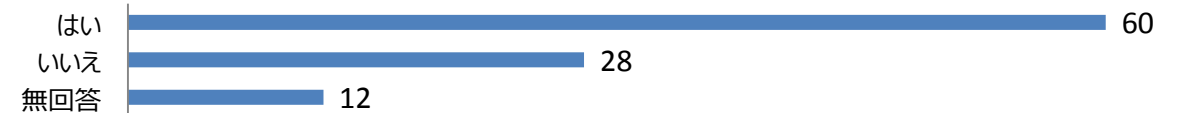


◆にこてらすで実施してほしいプログラムがあれば記入下さい。

パパ向け企画、年齢別、地域別ランチ会、0歳児向けのイベント、離乳食、歯磨き講座、上の子のいる産後ママ、幼稚園の情報交換、ママの気分転換講座、簡単な運動会 等

ただいま年齢別ランチ会やパパ向けプログラムを企画中です。

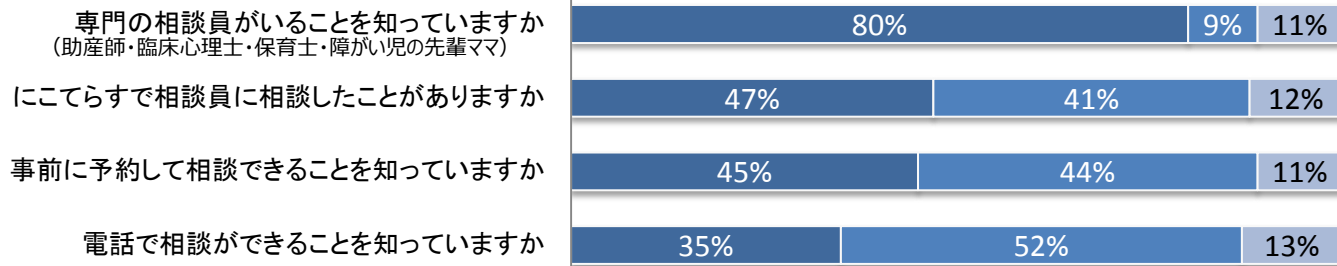
◆にこてらすでは今年度ボランティア(学生、祖父母世代)が週1～2日来てくださっています。ボランティアがいることがわかりましたか。(%)



## 相談について

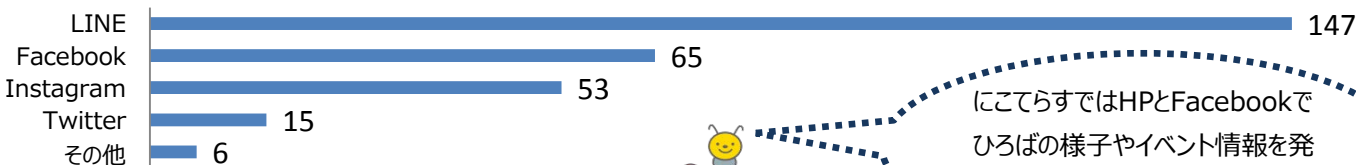


■ はい ■ いいえ ■ 無回答



## 情報提供について

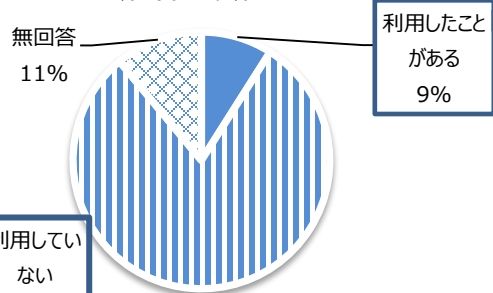
◆よく利用しているSNSは何ですか（複数回答可：人）



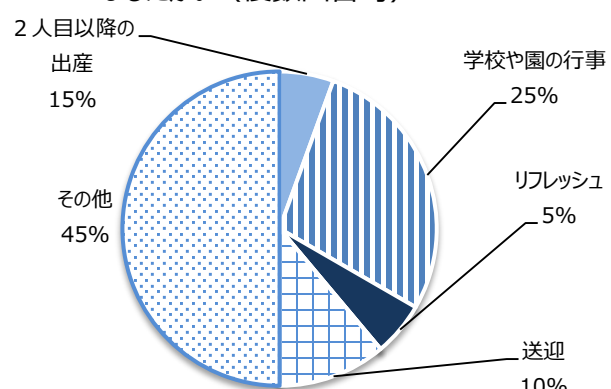
にこてらすではHPとFacebookで  
ひろばの様子やイベント情報を発  
信しています。見てみてね。

## 子育てサポートシステムについて

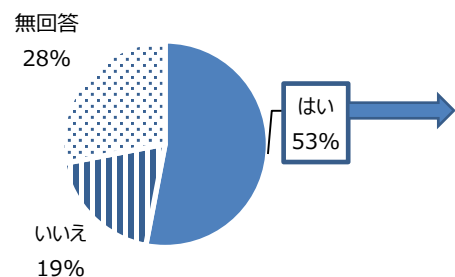
◆横浜子育てサポートシステムを利用し  
たことがありますか。



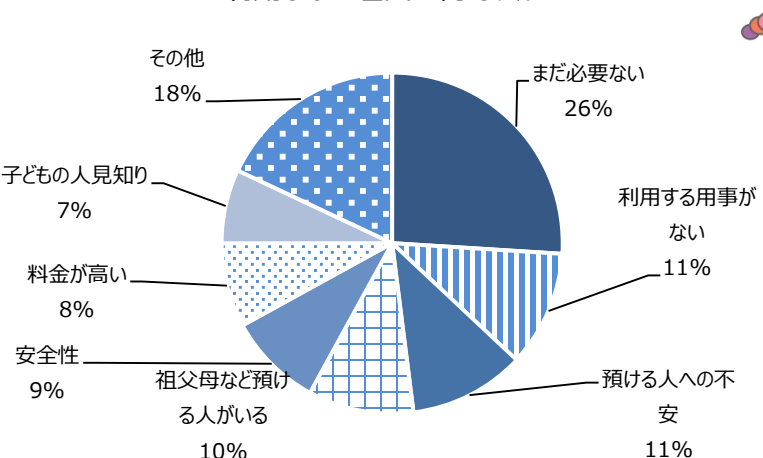
◆「利用している」方にお聞きします。どんなときに利用  
しましたか。（複数回答可）



◆横浜子育てサポートシステムを知っていますか



◆「はい」と答えた方のみお聞きします。  
利用しない理由は何ですか。



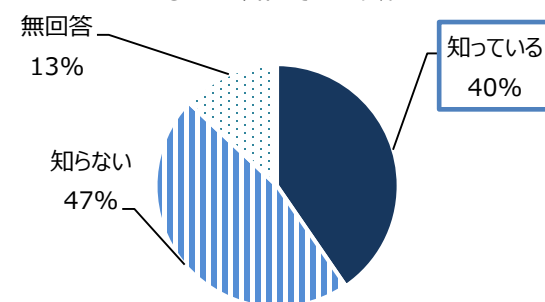
今年度は「子育てサポートシステムを知っているのに、利用されないのはなぜ？」にポイントを絞った設問にしました。「知っているけど…」の理由の約半数が「まだ必要なかった」り、「預け先がある」などでした。この結果を受け、この方達が必要になったときに「子サポ！」と思ってもらえるような働きかけをしたいと思います。

## 利用者支援事業（子育てパートナー）について

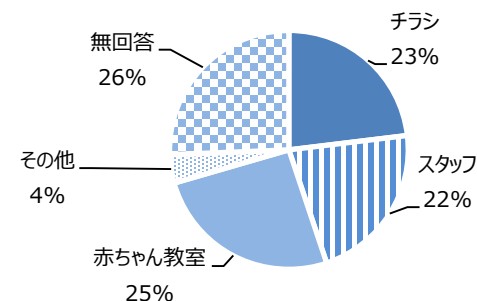
<子育てパートナーとは>

「子ども子育て支援法」に基づき各区に配置された相談員です。乳幼児～18歳までの子どもいる家庭の困りごとの相談窓口で、必要に応じて情報提供を行い、適切な支援機関に繋いで出口がみえるまで寄り添います。

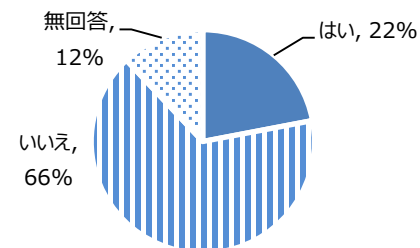
◆利用者支援員（子育てパートナー）がい  
ることを知っていますか



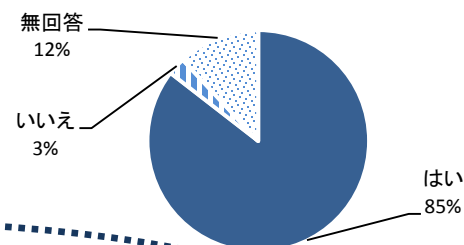
◆「知っている」と答えた方にお聞きします。何で知りましたか



◆にこてらすの利用者支援員（子育て  
パートナー）は誰か知っていますか。



◆困りごとがあった時、利用者支援員に  
相談してみたいと思いますか。



事業開始後2年がすぎましたが、十分な周知には至っていないことが分かりました。平成30年4月より、元ひろば相談員（助産師）が子育てパートナーとなりました。より気軽な相談先になるよう努めます。